

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部	
	17014	農業集落排水施設機能強化事業	課名	下水道課 下水道工務G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	04:農業集落排水事業特別会計
	基本施策	03:上下水道の充実		款	01:事業費
	施策の方向	02:生活排水対策の推進		項	02:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目		01:建設改良費	
事業予定期間	H 30 ~ R 7 年度	主な根拠法令要綱等	浄化槽法		

目的・概要	対象	農業集落排水施設
	目的	農業集落排水施設最適整備構想に基づき、老朽化した施設・機器等の機能低下の回復を、最適時期に最適な方法により実施し、ライフサイクルコストの縮減や平準化により、施設処理機能の長期的な維持管理を図る。
概要	概要	平成30年度に実施した機能診断調査の結果を基に、長期的な適切な機能保全対策を定める最適整備構想を策定する。また、機能強化対策の事業計画を策定し、老朽化等により機能低下した施設の更新工事を実施する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	最適整備構想 14施設	機能強化対策事業計画 一式	機能強化工事 一式	
	年度実績	○最適整備構想 14施設			
事業の計画・実績	計画額	事業費	20,000千円	8,000千円	20,000千円
		国庫支出金	8,000千円		10,000千円
		県支出金			
		地方債			10,000千円
		その他			
	予算額	事業費	20,000千円		
		国庫支出金	8,000千円		
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	18,920千円		
		国庫支出金	8,000千円		
		県支出金			
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	12,000千円	8,000千円	0千円	
	総人件費	2,590千円	0千円	0千円	
	一般職員	2,590千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.33			
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		21,510千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	最適整備構想策定数	活動	計画値	1	
		性能劣化予測・対策工法選定・機能保全等計画策定の数		実績値	1	
				単位	計画	
	名称	機能強化対策事業計画策定数	活動	計画値		1
		国の事業認可を受けた機能強化対策事業計画策定の数		実績値		
				単位	計画	
	名称	機能強化済み施設数	成果	計画値		1
		機能強化工事を実施した施設数		実績値		
				単位		処理場

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 機能診断調査の結果を、平成31年度に策定する最適整備構想を十分に反映させる。また、最適整備構想については、持続可能な効率的な事業計画となるよう内容を十分検討する必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 最適整備構想策定にあたり機能診断結果を反映させ、また汚水処理方式の変更等の多面的な検討を行い構想策定を実施した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 農業集落排水施設の有効活用とライフサイクルコストの低減を図り効率的な維持管理と安定した生活排水処理が行える最適整備構想を計画どおり策定できた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 機能診断調査の結果を反映させ、また処理方式の検討を行い3地区を公共下水道へ、2地区を集落排水同士の統合とし14地区から9地区へと再編を目指していくものとし、9地区の機能強化事業を実施するものとした。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 最適整備構想を令和2年度に策定する機能強化事業に十分に反映させる。 ライフサイクルコストを軽減できる計画とする必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 機能強化事業実施にあたり、優先的に進めていく地区の選定を行い機能保全費の標準化を図ることにより、経済的・効果的な整備事業計画とする。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 ライフサイクルコストを軽減し、適切な維持管理を実施することにより、快適な生活環境と健全な水環境の維持を図る。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	A	A		
	成果	/	A	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		20,000 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	20,000 千円
	令和2年度への繰越額	千円